



## 確かな学力を育むデジタルとアナログの学び

校長 兼平 誠

期末考査が終わり、生徒はこれまでの学習の成果とともに、自分自身の課題についても実感している時期かと思えます。うまくいったこと、思うように力を発揮できなかったことの両方を、これからの学びに生かしていくことが大切です。

現在、授業や家庭学習におけるデジタルの活用が大きく広がっています。調べ学習や発表、協働的な学びにおいて、デジタルは迅速で柔軟な情報共有を可能にし、生徒の学びの可能性を大きく広げています。

一方で、学習を振り返ると、理解の定着や思考の深まりには、ノートに書いて整理することや、繰り返し問題(ワーク)に取り組むこと、対面での学び合いなど、アナログの学びの良さが大きく関わっていることも改めて見えてきます。実際に手を動かし、考える過程を重ねることが、確かな学力につながっていきます。

これからの学習において大切なのは、「デジタルかアナログか」という選択ではなく、それぞれの特性を生かしながら、自分に合った学び方を見つけていくことです。例えば、分からないことを調べる際にはデジタルを活用し、その内容を自分の言葉でノートにまとめる。あるいは、問題演習で基礎を固めたうえで、デジタルツールを使って他者と意見を共有するなど、双方を組み合わせることで学びはより深まります。

さらに、家庭学習においても、この「両輪」を意識することが重要です。例えば次のような取り組みが効果的です。

- デジタルの活用:授業で扱った内容を動画や教材で振り返る、苦手分野を繰り返し学習する。
- アナログの活用:ノートにまとめ直す、問題(ワーク)を解き直す、間違いを自分の言葉で説明する。
- 組み合わせ:調べたことをノートに整理し、翌日に友だちや先生に説明してみる。

こうした積み重ねが、「分かったつもり、できているつもり」から「分かる、できる」への転換につながります。

また、今回の期末考査を通して見えてきた課題に向き合うことは、次の成長への大切な一歩です。結果に一喜一憂するだけでなく、「どのように取り組んだか」「どこでつまづいたのか」を振り返り、学び方そのものを見直していくことが重要です。

情報があふれる現代においては、デジタルツールを正しく使いこなす力とともに、情報を吟味し、自分の考えを確かな言葉で表現する力や適切に活用するための判断力が求められています。こうした力は、デジタルとアナログを両輪とする学びの中でこそ育まれていきます。

本校では、今後も生徒一人一人が自ら学びを調整し、主体的に取り組めるよう、デジタルとアナログの「両輪」を意識した教育活動を進めてまいります。

ご家庭におかれましても、今回の期末考査をきっかけに、お子様がどのように学習しているか、ぜひ一緒に振り返っていただき、「どんな方法が自分に合っているか」を話題にしていいただければ幸いです。



朝の始業前や昼休み、放課後等の時間に、職員室前学習スペース(ピタゴラスの庭)を活用して学習に取り組む生徒もいます。

## 6月きたみ人権デーの話(担当:校長)

喜多見中学校では、人権に関する講話を月1回行っています。6月11日(木)の内容について、概要をご紹介します

4月のきたみ人権デーでは、「人権を尊重するとはどういうことか」と「相談シート」について話をしました。人権を尊重するとは、自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることです。そして人権とは、一人の人間として大切にされる権利のことです。

また、成長の途中にある皆さんには、「子どもの権利」があります。その原則は、「命が守られ、成長できること」「子どもにとって最もよいことが考えられること」「意見を表明し、参加できること」「差別のないこと」の4つです。

世田谷区では、「世田谷区子どもの権利条例」を定め、子どもが自分らしく成長できるまちを目指しています。この条例には、皆さんが持っている20の権利が示されています。これらの権利は、日々の生活の中で守られているでしょうか。自分の話を聞いてもらえなかったり、やりたいことを妨げられたりすることもあるかもしれません。

そのようなとき、この条例は、自分の権利を守るための行動や状況を変える手がかりになります。信頼できる大人に相談することも大切ですが、難しい場合には、相談に乗ってくれる窓口「相談先マップ」もあります。

学ぶことは自分を守るにつながります。今回の学びもその一つです。皆さん一人ひとりには大切にされる権利があります。その権利を自分でも守り、仲間の権利も大切にしてほしいと思います。



ご家庭でも内容をご確認ください。

## 令和8年度 第1回 多様な学びを考える保護者の会(ご案内)

6月25日(木)に、「すぐる」にてお知らせさせていただきました。あらためてご案内いたします。

本校ではこれまで、不登校や学校生活に不安を感じているお子様をもつ保護者の皆様を対象に、情報交換や学びの機会を設けてまいりました。

今回は、橋本弘美先生を講師としてお招きし、子どもの心の理解を深めるとともに、日々の関わり方のヒントについて、講演会およびグループワークを通して考えてまいります。

現在お悩みの方はもちろん、「話を聞いてみたい」という方もお気軽にご参加いただけます。安心してご参加いただける場づくりに努めてまいりますので、ぜひご参加くださいようご案内申し上げます。

- 1 日時 令和8年7月24日(金) 17時00分から(およそ90分程度)
- 2 場所 喜多見中学校 2階被服室
- 3 内容 橋本 弘美 先生のお話  
「子どもの心の理解と対応について ~子どもに寄り添うために~」

世田谷区教育委員会 教育指導課 学校支援アドバイザー  
西新井こころのクリニック カウンセラー

臨床現場での長年のご経験をもとに、子どもの心の理解や日々の関わり方について、具体的にできることを保護者の皆様と一緒に考え、丁寧な支援を実践されています。

喜多見中学校 多様な学びを考える  
保護者の会 参加確認票



## 7月の予定

7月 2日(木) 専門委員会	10日(金) 漢字検定
3日(金) 中央委員会	13日(月) 生徒会朝礼 避難訓練
第1回進路説明会・単P研修会	15日(水) 着こなしを考える日
6日(月) 全校朝礼	16日(木) 水泳指導終
7日(火) モーニングキャリア	17日(金) 終業式 職員会議
8日(水) 職員会議	21日(火)~27日(月) 三者面談 補習教室
9日(木) きたみ人権デー	24日(金) 多様な学びを考える保護者の会